

加佐

学校だより 10月号

平成29年10月2日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

E-mail kasa-jhs@kyoto-be.ne.jp



学校教育目標

『仲間とともに 夢と希望をはぐくみ 学びあい 認めあい 鍛えあう生徒の育成』

なぜ『黄絹幼婦外孫壺臼』の意味は？



中国の三国時代（184年～280年）の国の一つに魏があり、そこに【曹操】という武将がいました。ある日【曹操】は名高い碑の前を通った折に『黄絹幼婦外孫壺臼（こうけんようふがいそんせいきゅう）』と書かれた落書きを見付けました。【曹操】は、その意味が、直ぐには解からず、随行している知恵者の【楊修】に尋ねました。即「分かりました！」と答える【楊修】に「自分が解るまで、答えは言うな。」と申し付け、一行に先を急がせました。【曹操】は、かごに揺られながら考えること数時間、答えがやっと解りましたが、その時既に碑から三十里（約12km?）も移動してました。【曹操】は「私の才能は【楊修】の三十里も及ばないのか！」と嘆いたそうです。こうして“有智無智三十里”との言葉が生まれ、それは学問をしている者としていない者の差は、はなはだしいとの教えです。ただ【曹操】が、かごの中で過ごした数時間が本当は、この話の本質で重要な点ではないでしょうか？集中して課題に向き合い最後まで粘り強く考え抜く力が、ものすごく大切です。この力をどう付けるかが、今学校に求められています。この力を持っていた【曹操】が、その後学問に励み三国統一の礎を築いたのは、納得です。ところで落書き『黄絹幼婦外孫壺臼』のなぞは『絶妙好辞』を意味し（左に説明）『絶妙好辞』は「とても素晴らしい文章」のことです。ただ、【楊修】は【曹操】の後継者問題に巻き込まれ、最後は【曹操】に殺されてしまいました。惨い話です。

本校が目指す生徒像

知；真面目に考え判断力のある子
徳；思いやりを持って助け合う子
体；健康でたくましく行動する子

『黄絹幼婦外孫壺臼』の意味	
黄絹→色の付いた糸で	『絶』
幼婦→少女のことで	『妙』
外孫→女（むすめ）の子で	『好』
壺臼→辛みを受けるので	『辞』

6 ÷ 2 = 3 の意味は・・・？



問①の意味

問②の意味

割り算の意味には、2パターンあります。例えば「問①.6個のリンゴを2人に等しく分けると何個ずつになるか？」「問②.6個のリンゴを2個ずつ分けると何人に分けられるか？」この①、②の答を求める式は、どちらも『6 ÷ 2 = 3』です。そこで①と②の式の意味を図で示すと左のようになります。同じ式、同じ答えであっても答えを導く式の意味は違います。子どもの出す結果（答）だけを観て正しいと判断し、その途中の考え方を理解しようとしないと、大きな行き違いが両者の間で生じます。



校長 山口 茂
教職員一同